

# 伊那圏域の減災に係る取組の進捗状況

資料-1

取組項目	取組機関	平成29年度実施内容	平成30年度の予定
<b>ハード対策</b>			
<b>洪水を河川内で安全に流す対策</b>			
優先的に実施する堤防、護岸等の整備	県	伊那建設事務所にて、棚沢川、三峰川、駒沢川、猪の沢川、小黒川、大沢川、田沢川で河川改修事業を実施	引き続き河川改修事業に取り組む
適時、適切な維持管理の実行	県	適宜、維持修繕工事を実施	引き続き維持管理を行う
<b>避難行動、水防活動排水活動に資する基盤等の整備</b>			
水位等の観測データ及び洪水時の状況を把握・伝達するための基盤の整備	県	従来よりホームページ(長野県河川砂防情報ステーション)にて水位情報を提供している	
住民への避難情報の伝達手段の強化	市町村	駒ヶ根市では、登録制メールのリニューアルを行い、登録者が増加した	
水防活動を支援するための新技術を活用した水防資機材等の配備	県		危機管理型水位計の設置が必要な箇所等の検討
浸水時においても災害対応を継続するための施設の整備及び自家発電装置等の耐水化	市町村		伊那市では、防災コミュニティセンターを本庁浸水時の代替施設とする
内水被害危険箇所の対策、排水ポンプの準備	県、市町村、天竜川上流河川事務所	長野県において、従来より排水ポンプ車を飯田、諏訪、北信建設事務所に配備し、運用要領を定めて、必要に応じた出動に備えている	
局地的豪雨に対する雨量情報の把握手段の検討	県、市町村		伊那市では、市設置の雨量計の維持管理をし、情報の把握に努める
<b>ソフト対策</b>			
<b>①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組</b>			
<b>広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等</b>			
想定最大規模降雨による浸水想定区域図の作成・公表の予定を検討して順次作成・公表	県		天竜川(県管理区間)に係る想定最大規模降雨による浸水想定区域図を作成予定(諏訪建設事務所)
想定最大規模の洪水による浸水想定区域図が作成された場合は、速やかに当該浸水想定に基づく水害ハザードマップを作成・周知	市町村		
その支援	県、天竜川上流河川事務所		
水害リスク情報を踏まえて避難場所、避難経路を検討し、必要に応じて隣接市町村等における避難場所の設定や洪水時の連絡体制等について検討・調整	市町村		
<b>要配慮者利用施設における避難計画の作成及び避難訓練の実施</b>			
浸水、土砂災害対象の要配慮者利用施設の避難確保計画の作成及び避難訓練の実施の支援	市町村、県、天竜川上流河川事務所	県にて平成30年3月に施設管理者等向けの説明会を開催	駒ヶ根市においては、要配慮者利用施設の避難確保計画を6月までに作成予定
<b>避難勧告の発令に着目したタイムラインの作成</b>			
避難勧告の発令に着目したホットライン・タイムラインの作成・見直し	県、市町村、気象台、天竜川上流河川事務所	平成29年6月に、伊那建設事務所と管内市町村との、大規模出水時における連絡体制(ホットライン)を整備	
必要に応じた地域防災計画の修正やマニュアルの整備	市町村	箕輪町では、毎年必要に応じて追記・修正し、防災会議で承認を得ている	駒ヶ根市においては、9月に防災計画の修正予定
タイムラインに基づく訓練	県、市町村、気象台		
「危険度を色分けした時系列」、「警報級の可能性」や「洪水警報の危険度分布」等の新しい防災気象情報の利活用を検討	県、市町村、気象台	県と長野地方気象台との共催で、長野県防災気象情報講習会を3回開催した 駒ヶ根市では、警戒態勢時に利用している 箕輪町では、独自の「避難勧告等の判断伝達基準」を作成した	県と長野地方気象台との共催で、長野県防災気象情報講習会を3回開催予定
<b>水害危険性の周知促進</b>			
洪水予報河川、水位周知河川の追加指定について、検討・調整を実施	県		
水位計やライブカメラ等の情報をリアルタイムで提供	県、天竜川上流河川事務所	従来よりホームページ(長野県河川砂防情報ステーション)にて水位情報を提供している	
<b>②洪水氾濫による被害の軽減、避難時間の確保のための水防活動の取組</b>			
<b>より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化</b>			
消防団等への連絡体制や役割分担の再確認と伝達訓練の実施	市町村、県、天竜川上流河川事務所	箕輪町では、水防協議会において消防団への伝達等確認を行っている	
消防団同士の連絡体制の確保	市町村	箕輪町では、SNSを用いた幹部への連絡体制を確立している	
重要水防区域や水防資機材等について、河川管理者と関係者の共同点検の実施を検討	県、市町村	河川法第5条の2に基づき、河川管理者(伊那建設事務所)にて、出水期前に河川管理施設等の点検を実施	引き続き点検を実施
より効率的な巡視方法や役割分担の検討	県、市町村、天竜川上流河川事務所	箕輪町では、水防協議会において確認を行っている	
関係機関が連携した実働水防訓練の実施について検討	県、市町村、天竜川上流河川事務所	指定水防管理団体である各消防団において、長野県水防計画に基づき、伊那建設事務所指導により出水期前に水防訓練を実施	引き続き水防訓練を実施

消防団員の募集、自主防災組織、企業等の参画を促すための具体的な広報の進め方について検討し、順次実施	市町村	駒ヶ根市では、消防団広報紙の発行と、消防団員サポート事業等を実施している 箕輪町では、自主防災組織の充実を図るため、防災士を養成するべく補助金を出している	伊那市においては、各種機会を捉えての啓発と広報紙等でのPRを行う 駒ヶ根市においては、消防団広報紙の発行、消防団員サポート事業等を引き続き実施
内水被害危険箇所の把握及び情報共有	県、市町村、 天竜川上流河川事務所		
浸水想定区域内の市町村庁舎や災害拠点病院等に関する情報を共有し、各施設管理者等に対する洪水等の情報伝達体制・方法について検討	県、市町村、 天竜川上流河川事務所	箕輪町では、老人福祉施設及び医療施設が災害時の連携を図るため、防災訓練において、施設利用者移送訓練を実施するとともに、訓練の教訓を活かすため、災害時の連携等を目的に協定を締結した	箕輪町においては引き続き、要配慮者利用施設と連携した避難誘導訓練を実施
災害拠点となり得る施設・資材・備品の強化等	県、市町村、 天竜川上流河川事務所		
<b>③社会経済活動被害最小化を図るための排水活動や河川管理施設整備の取組</b>			
<b>排水施設・排水資機材の運用方法の改善</b>			
水害リスク情報、現況の排水施設・資機材の情報について共有	県、市町村、 天竜川上流河川事務所		
よりわかりやすいダム情報の公表・伝達手段の検討	県	従来よりホームページ(長野県河川砂防情報ステーション)にてダム情報を提供している	
樋門等の情報共有と操作状況の確認	県、市町村、 天竜川上流河川事務所		